熊谷市内県立高校全８校による 第2回 スイーツ文化祭

スイーツ文化祭　スイーツ一覧

熊谷商業高等学校	灼熱あつぺえカレーパン 灼熱フロランタン
熊谷西高等学校	ポン太リングドーナツ ポン太あんドーナツ
熊谷特別支援学校	ゆめのすけクッキー
妻沼高等学校	カルティ&ペートンサブレ（プレーン） カルティ&ペートンサブレ（ココア）
熊谷高等学校	くぬぎサブレ（プレーン） くぬぎサブレ（ココア）
熊谷工業高等学校	ブルーベリーパウンド チョコチップパウンド
熊谷農業高等学校	スコーン&ブドウジャム （自校産ブドウ使用）
熊谷女子高等学校	鈴懸サブレ（プレーン） 鈴懸サブレ（抹茶） 鈴懸サブレ（ココア）

八木橋デパート 1F東入口　11/1(日)

高校生のヤングパワー炸裂！

昨年テレビ中継までされ、大盛況を博した熊谷市内県立高校8校によるスイーツ文化祭が今年も開催されます。熊谷産小麦（さとのそら）を使って各校が工夫を凝らし作ったオリジナルのお菓子を販売します。

シールのデザイン、製品のアイデア、自校のキャラクターを活かすなど、商品として完成させるまで生徒のアイデアが活かされました。販売も学生自らの手で行いますので、各校の熱意が伝わり、会場は素晴らしい盛り上がりです。そして、何より熊谷市内の県立高校全8校が一堂に会する行事はこれだけ!!

卒業された母校のスイーツを目当てにされるも良し、気になる高校のスイーツを手に取られるも良し。各校それぞれのオリジナル商品ですので、個性が光っています。すべてをお買い求めいただき食べ比べてみるも一計。高校生との交流も楽しみです。是非会場に足をお運び下さい。

熊谷西高等学校

熊谷農業学校

文化財で街おこし

国宝「歓喜院聖天堂」

妻沼聖天山の本殿である国宝、歓喜院聖天堂（かんぎいんしょうでんどう）は権現造と呼ばれる拝殿・中殿・奥殿が連なる構造で、各部位に配置された彫刻はまさに豪華絢爛。肉彫り・透彫り・丸彫り・龍彫りなどの多様な彫刻技法が用いられている。縦横の柱やその周辺には、地紋彫りと呼ばれる文様彫刻が施されており、中国の神話に登場する獅子・龍・獏・鳳凰などの霊獣や動植物が今にも動き出しそうな勢いで縦横者を圧倒する。奥殿の外周りの壁板や縁下を飾る大羽目彫刻と縁下腰羽目彫刻は極めて緻密であり、いずれも鮮やかな彩色に彩られている。七福神や唐子遊びなどの彫刻は滑稽的に表現されながらも、高肉透彫りと呼ばれる高度の技法が目映い。また、内部の壁や柱は漆塗りや金箔で彩られており、獅子や蟇の障壁画、吉祥文字、狩野派による龍や鳥獣の天井画が描かれている。

日光東照宮の創建から百年あまり後、装飾建築の成熟期となった時代に、多くの民衆からの寄進を受け、林兵庫正清・正信親子の棟梁と、石原吟八郎が率いた名工の彫刻師集団によって優れた技術が惜しみなくつぎ込まれた歓喜院聖天堂。江戸時代建築の一つの到達点として高く評価されている。

（熊谷市立江南文化財センター　山下祐樹）

熊谷駅献血ルームの内部。アットホームな雰囲気がある。

献血を未来へ

生命にとってかけがえのない血液。血液の主要な成分、血球成分（血液細胞）は重量比で赤血球96%、白血球3%、血小板1%で構成されている。人間の生命に不可欠な各成分は、医療の中での輸血として利用され、その補給を担っているのが献血である。

推進キャラクター「けんけつちゃん」

今日における国内の血液事業

平成十四年七月、献血をはじめとする血液事業の基本理念や国・公共団体の責務を定めた「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が成立した。この法律は、血液製剤の安全性の向上、国内献血による国内自給を目指す安定供給の確保、適正使用の推進とともに、血液事業の公正かつ透明な実施体制の確保を基本理念に掲げている。

これは医療措置に必要な輸血のために、いかに国内で安定した献血を受け入れるかという問題意識と共にあった。この献血を担う組織が、国際的な赤十字運動の一環として日本国内にて事業運営を進めている日本赤十字社である。

埼玉県における血液事業

埼玉県内全域での献血者の受入や輸血用血液の供給を担当しているのが、埼玉県赤十字血液センターだ。当センターは年間約二十三万人の献血者を受け入れ、県内約五百の医療機関に輸血用血液を供給している。

埼玉県内の献血者数は平成二十四年度には約二十五万人、二十五年度には約二十三万八千人、平成二十六年度には二十三万三千人と推移し緩やかに減少している。特に二〇代の若年層献血者の減少がその要因の一つになっている。四〇代の協力が多く、三〇代、五〇代、二〇代の順となっていることは、埼玉県の少子高齢社会の状況を反映しているものと考えられる。

熊谷赤十字血液センター

昭和62(1987)年、当時の皇太子記殿下（現在の天皇陛下）が熊谷市奈良新田にある熊谷赤十字血液センターを行啓されたその記念に建設された校は今も花を咲かせている。

昭和58年に開設された血液センターは、その当時、県内では伊奈町の血液センターと共に2つの重要な拠点として県内医療機関への血液供給を担っていた。その後、日高市に第三の血液センターが開設され、総合的な機関として埼玉県赤十字血液センターとして名称を変え、伊奈と熊谷の業務を集約した。現在は、東松山市に開設された埼玉県東松山赤十字血液センターの製造機が、県内の中核的センターとしての役割を担っている。熊谷赤十字血液センターは、熊谷出張所として名称を改め、血液の保管とともに、献血バスによる献血機会の提供などと、地域に根差した血液事業の運営にあたっている。

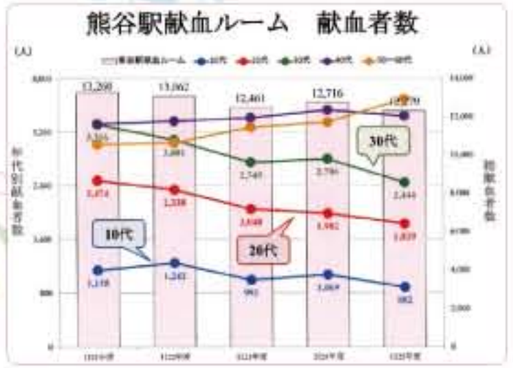
献血ルームと地域の連携

15年間、アットホームな雰囲気で献血者を受け入れている熊谷駅献血ルーム。所長の玉川忠さんは、献血者の減少に危機感を募らせ、特色ある地域密着型の献血ルームの方向性を模索していた。その企画を支援する中で、2014年、埼玉県立熊谷農業高校が製造した「くまのうあいす」を献血者へ提供することが決定した。

学校側の協力により、地域との連携が実現した。このことが新聞や一部のテレビで紹介され、話題となった。リピーター爆の県からの来所などと、これらが功を奏して献血者の増加にもつながったのだ。まさに玉川さんの地域との連携が果たされるプロジェクトとなった。

このことは、その後に企画された「けんけつちゃんサブレ」として実を結ぶことになる。熊谷に所在する名高校との連携で、熊谷の小麦活用を進めてきた「くまがや小麦の会」、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」をモチーフにしたサブレを小麦の会が製造し、10月、献血者へ提供することが始まり、好評を得ている。

地域と連携した献血ルームの存在が、次世代の献血事業の輪を広げることにつながる。その芽が熊谷の地で大きな森となることを願っている。（Y）



第五回 宮城県気仙沼市立気仙沼小学校訪問

梅雨の晴れ間に、今年も気仙沼小学校を訪問しました。東日本大震災から4年3ヶ月。今回で第5回目の訪問となりました。気仙沼駅の周辺整備が少しずつ進み、市街地に高層住宅が建設されるなど徐々に復興を実感することができました。「くまがや小麦の会」の皆様のご協力による義援金を日向美津江会長から学校にお渡しする事ができました。

震災当時(3名いた児童数は年々減少し、今年は28名。今年入学した1年生は、2歳で震災を体験。目で見たことは記憶に残っているとのことで、今でも雨の音や津波のDVDで涙ぐむ児童もいるとのことです。県立子どもセンターからはカウンセラーが週2回派遣され、子どもたちの様子を定期的に観察しながら心のケアに当たっていることを伺いました。1年生と6年生は5月に「安波山」への遠足を実施し、地域の復興状況を見る場としていること、3年生は「館が森アーク」での体験学習を中心とした遠足を行い、義援金を有効に活用いただいている報告をいただきました。

熊谷の力 報告会 ピピア

7月10日江南ピピアにおいて、熊谷市民協同「熊谷の力」の報告会が行われました。日向会長による八木橋デパートでの県立8校によるスイーツ文化祭についての成果、各校のシールについて発表されました。

富岡市長より県立8校の参加は初めてで、とても感謝されました。

当日は報告会参加者全員にサブレを配布し喜ばれました。

講師の今井校長と日向会長

「ふるさと熊谷応援寄附金特典制度（ふるさと納税）の贈呈品に選ばれました

ふるさと納税の贈呈品は1回1万円以上の寄付を行った市外在住の個人の方に贈られるものです。熊谷ならではの物をと20品目あります。小麦の会の詰め合わせも「くまがやの小麦を使ったお菓子セット」として選ばれました。

セット内容

パウンド	1
パウンドポーション	3
くまサブレ	5
あつぺえサブレ	5
ニャオざねサブレ 4枚入	3
ニャオざねサブレ 10枚入	1

熊谷市誕生 10周年記念誌に掲載 …《熊谷名物》として紹介される

10月1日に市内全世帯に市報と一緒に配布された「KICK OFF 熊谷」の17ページに「熊谷の名物をどうぞ」というコーナーがあります。

熊谷は米と麦の二毛作で（さとのそら）（あやひかり）（農林61号）などの小麦が栽培され全国有数の小麦の産地です。

小麦の会が地産地消を推進し（あやひかり）100%使用したパウンドケーキが人気だと紹介されました。（H）

セレモニーホール ゆうえん　埼玉県熊谷市の斎場　0120-136-444　ときめきに心をこめて
ゆうえん　ゆうえん友の会
〒360-0813 埼玉県熊谷市問光 1-17-13　TEL：048-525-5444・FAX：048-525-5446

一貫性のある教育の実現　学校法人 熊谷DFS学園 立正大学系列　立正幼稚園　Rissho Kindergarten
埼玉県熊谷市楊井1748-2　http://www.rissho.ed/jp/
TEL.048-536-1688　FAX.048-536-2168

吉田・櫻井税理士法人　税理士 吉田 嘉高　税理士 吉田 貴之　税理士 櫻井 富美子
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8　TEL:048-521-0334　FAX:048-521-4506

くぼじまグループ　くぼじまクリニック　KUBOJIMA CLINIC
理事長・院長　大島猛二
●総合内科（かかりつけ医）
●人工透析
熊谷運動公園北・入院設備有
〒360-0831 熊谷市久保島 1785-2
TEL:048-533-7511（代）FAX:048-533-4606
http://www.kubojima.com/

リサイクルの亀井産業グループ　太陽光発電　始めました
亀井産業株式会社　熊谷カーボン

株式会社 平松　代表取締役 日向研一朗
歴史が育む無限の可能性…地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL：048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール（埼玉県熊谷市代1007）
●平松商事株式会社（埼玉県熊谷市中奈良1797-1）

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします
熊谷麒ビール　灵越
小麦の語らい
近江屋酒店　定休日：日曜日
熊谷市肥塚4-7　TEL.048-521-1009　FAX.048-521-3198

特定医療法人 同愛会　熊谷外科病院
・外科・皮膚科・内科・泌尿器科・消化器科・リハビリテーション科・循環器科・肛門外科・整形外科・乳腺外来・形成外科・糖尿病外来・脳神経外科・看護部
☎ 048・521・4115（代）
〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田3811-1